

大島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	海事实務		
科目基礎情報							
科目番号	0056		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	3			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	実験実習指導書/大島丸実習ノート/キャリアデザインノート/配布資料						
担当教員	杉本 昌弘,山口 伸弥,小林 孝一朗						
到達目標							
1. 船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得し、船内機器の運転や保守管理に活用できる。 2. 船用諸機関および各種工作機器の基本原則と操作方法を理解し、実験・実習を遂行できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得し、船内機器の運転や保守管理に活用できる。		船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得できる。		船舶機関士として必要な基礎知識・技術を習得できない。		
評価項目2	船用諸機関および各種工作機器の基本原則と操作方法を理解し、実		船用諸機関および各種工作機器の基本原則と操作方法を理解できる。		船用諸機関および各種工作機器の基本原則と操作方法を理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
本校 (1)-b 商船 (2)-a							
教育方法等							
概要	海事实務は技能および技術を習得するとともに、技術者として望ましい態度や習慣を身に付ける。						
授業の進め方・方法	実習及び演習を主体とする。相互評価に「実技」等を含める。ポートフォリオに「課題」「レポート」等を含む。						
注意点	必要に応じて、実験実習指導書、大島丸実習ノート、配布資料、関数電卓を持参すること。安全について十分に配慮すること。作業服、安全靴、帽子を着用してこること。						
授業の属性・履修上の区分							
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	主機運転	主機の始動準備、始動、停止作業を、英語を用いてチームとして行うことができる。			
		2週	燃料潤滑油	タンクサウンディングができる。トリム修正、容積換算について理解できる。			
		3週	配管調査 (1)	主機冷却海水の概要が理解できる。			
		4週	配管調査 (2)	主機操縦空気系統の概要が理解できる。			
		5週	主機構造	ディーゼル機関の構造について理解できる。			
		6週	制御工学 (シーケンス) (1)	シーケンスについて概要がわかる。			
		7週	制御工学 (シーケンス) (2)	シーケンスについて概要がわかる。			
		8週	レポート作成				
	4thQ	9週	甲板機器取扱い	油圧クレーンその他の設備を用いて、重量物の運搬を適切に行うことができる。			
		10週	応急操舵操練	非常操舵部署に就き、応急操舵を行うことができる。			
		11週	救命講習 (1)	救命艇の降下および収容ができる。			
		12週	救命講習 (2)	船内の救命設備の概要、使用方法が理解できる。			
		13週	消火講習 (1)	船内の消防設備の概要、使用方法が理解できる。			
		14週	消火講習 (2)	各種消火器及び消火ホースを使用して、初期消火をすることができる。			
		15週	機関系講習	機関系講習に関わる内容について、理解および実践できる。			
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	10	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	70	10	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0